就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(金田 (中国	(I)労働時間		
会・細(3月 - 7月)	前年度(令和4年度)		
### (全田(本年)			均労働時間数 3.4
出版の日本の一個		(Ⅱ)生産活動	
#### 17.30.516 月			
前年度 (中和4年度)	生産活動収入から経費 22 768 005	7/ 30h h/h	四 収支 ▲ 4,536,581
### (今知年度) における実施 (全元を 1 (出 を知る事と) のの面において (は知知学生であたが) 男性の数据がある。上では、日本の数据がある。	前年度 (令和4年度)		
の主義を、発表の表。 技術の受験機関に関する報度 ②を打き、実際を表。 技術の受験機関に関する報度 ②を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ②を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を対き、実際の対象を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を対したが無い、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	円 収支 169, 339 円
の主義を、発表の表。 技術の受験機関に関する報度 ②を打き、実際を表。 技術の受験機関に関する報度 ②を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ②を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を打き、実際を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を対き、実際の対象を決し、無常の支援機関に関する報度 ③を対したが無い、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は		(Ⅲ)多様な働き方	
②交換・資料を持た、対象の受験対象	前年度(令和4年度)における実績(<u>全体表「(皿) 多樹</u>		実績がある」と選択した場合に実績を記載)
□ 今日の主意が表現される。 □ 名	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
原籍の意用内容 設当を立し 日本 月 日 日本			◎在宅勤務を行った人数 名
新茂の浜用内容		◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している □	
製造の活用の容:	※取得を進めた免許等: 国家資格		※実施した期間:4月1日~ 月 日
### (タフレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に係る労働条件 ③フレックスタイム制に係る労働条件 ③フレックスタイム制に係る労働条件 ③の場所開発がに係る労働条件 ③の場所関係を活用した人衆			
②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に所も人数 ③ 0 名 ・ 相信の定めなし。 ・ 相信の定めなし。 ・ 相信の定めなし。 ・ 一	制度の活用内容: 該当者なし		
②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制に係る労働条件 ②フレックスタイム制を活用した人数 ● 2			
②フレックスタイム報を使用した人数 0 名 無限しの定めなし、		職務内容:	業務にかかわる訓練
②フレックスタイム報を使用した人数 0 名 無限しの定めなし、	④フレックスタイト制に係る労働条件	乌短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件
次業時間:10時の分子12時の分子2時の分子2時の分子2時の分子変換を関係を表したより 実施理由: 陸がい特性により 実施理由: 陸がい特性により 変換所収取を設定した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所がより制度を表現した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を表現した対象 での場所がより での場所が、学校の表は内部研修会 での研修・学会等又は学会誌等において での研修・学会等又は学会誌等において での研修・学会等のは学会誌等において が表現を表している での対象を表現を表現している での対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を			
次業時間:10時の分子12時の分子2時の分子2時の分子2時の分子変換を関係を表したより 実施理由: 陸がい特性により 実施理由: 陸がい特性により 変換所収取を設定した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所がより制度を表現した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を取得した人数 での場所状態等を表現した対象 での場所がより での場所が、学校の表は内部研修会 での研修・学会等又は学会誌等において での研修・学会等又は学会誌等において での研修・学会等のは学会誌等において が表現を表している での対象を表現を表現している での対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を			
②有名依本駅の時間単位取得又は計画的付与制度	制度の定めなし。		制度の定めなし。
②有給休眠の時間単位取得又は計画的付与制度 ③体病休眠等の取得に関する事項 ○時間単位取得を注用した人数			
②計画的付き相反を活用した人数 0 名 ② 会		美池理田: 厚かい特性により	
②計画的付き相反を活用した人数 0 名 ② 会			
②計画的付き相反を活用した人数 0 名 ② 会			
●計画的付与制度を活用した人数 0 名。			and the control of th
数様した制度 有絵体版の時間単位取得		◎易州が収号と取付した人数	1 point
取得日登・時間 3日 6時間 (W) 支援力向上 (家) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載 (W) 支援力向上 (家) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載 (家) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載 (家) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載 (家) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載 (家) 支援力向上1の名項目の取組ありとした場合に実績を記載 (家) がより がいたが結研修会又は内部研修会 (家) がまり がいたが結研修会又は内部研修会 (家) がまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり でき	※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 🔲	就業規則への定めあり。	
(W) 支援力向上 前年度(令和4年度)における実績(全体表「(W) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に表徴を記載) ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ②研修、学会等又は学会誌等において発表 ③研修、学会等又は学会誌等において発表 ③研修に基づいた外部研修会又は内部研修会 ②研修、学会等又は学会誌等において発表 ③研修、学会等又は学会誌等において 一			
(W) 支援力向上 前年度(令和4年度)における実績(全体表「(W) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に来紙を記載) ①研修計画に基づいた外部研修会 ②研修大学会等又は学会誌等において発表 ③研修大学会等又は学会誌等において発表 ③研修大学会等又は学会誌等において発表 ③研修大学会等又は学会誌等において発表 ③研修大学会等を表している ②は一般では、ままが表もいなで、表している。 ②技術を表している。 ②対象による中では、ままの実施とは、表し、 「マンジ」 「オージーの主意」 「マンジ」 「人事評価制度を表にしている。 ②議及・実施日・参加者数 月 日 人実施日・参加者数 月 日 人実施日・参加者数 月 日 人実施日・参加者数 月 日 人実施日・参加者数 7月 29 日 1 人 「技術を受かれ」 マナビー 米田 照生氏 ②教験人等評価制度の対象は、またの表には、「国際技術を表している。 「会議人事評価制度の別数数 12 名 うち実給・昇格を行った者 10 名 当該人事評価制度の別数録。数 12 名 うち実給・昇格を行った者 10 名 当はアサポーターと記載している。 「本評価制度の別数録。数 12 名 うち実給・昇格を行った者 10 名 当該人事評価制度の別数録。数 12 名 うち実給・昇格を行った者 10 名 当該人事評価制度の別数録。数 12 名 うち実給・昇格を行った者 10 名 当該人事評価制度の別数は自ないましている。 「本野価表 公示 「関係を表している」」 「本野価制度の開始する特殊を表している」」 「本野価表 公示 「関係を表している」」 「本野価表 公示 「関係を表している」」 「本野価制度の開始する特殊を表している」」 「本野価表 公示 「関係を表している」」 「本野価表 公示 「関係を表している」」 「本野価格を受けている」」 「本野価表 公示 「現代を表している」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」」 「本野価格を受けている」 「本野価格を受けている」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している」」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している」」 「本野価格を表している」 「本野価格を表している。 「本野価格を表している」 「本野価格を表している。 「本野価格を表している。 「本野価格を表している。 「本野価格を表して			
 前年度(令和4年度)における実績(全体表「(W) 支援力向上)の各項目の取組ありとした場合に実施を記載) ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ②研修、学会等又は学会誌等において発表 ②研修、学会等又は学会誌等において 発表している ②研修、学会等又は学会誌等において 発表している回数 ②可修、学会等スは学会は専において 発表している回数 ②可修、学会等スは学会は専において 発表している回数 ②可修、学会等名 阪南岬支援者ネットワーク ジョブネット泉州南会議 など 実施日 7月 21日 主たる実施者 8月 18日 5人 ②駅路拡大の商談会等への参加 ②販路拡大の商談会等への参加 ②販路拡大の商談会等への参加 ②販路拡大の商談会等への参加 ②職員の人事評価制度を整備している ②・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ②研修、学会等又は学会誌等において発表 ③研修実施回数 外部 1回/内部 2回 対象職員数 7 人 分研修実施回数 外部 1回/内部 2回 対象職員数 5 人 ※研修、 常会等名 阪南岬支援者ネットワーク 光進的事業者名 大連部書もにとセサポーター最成課庫 7 月 21 日 主たる実施者・阪南市・受講者数 8 月 18 日 5 人 実施日・受講者数 8 月 18 日 5 人 ・	(Ⅳ) 支援力向上		
◎研修学施回数 外部 1回ノ内部 2回 ②一	前年度(令和4年度)における実績(全体表「(IV)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)		
②研修実施回数 外部 1回/内部 2回 対象職員数 7人 5 5 所修受講者数 5人 ※研修、学会等名 阪南岬支援者ネットワーク ジョブネット泉州南会議 など 実施日 7月 21日 主たる実施者: 阪南市岬町地域自立支援協議会 実施日・受講者数 8月 18日 5人 第 6子氏 実施日・受講者数 8月 18日 5人 実施日・参加者数 7月 29日 1人 (東京 20日 7月 21日 主たる実施者: 阪南市岬町地域自立支援協議会 (東京 20日 7月 20日 7大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 「会職員の人事評価制度を整備している」 ・会議と書名 介証を開加している」 ・当該人事評価制度の制定日 平成31年4月1日 人事評価制度の対象職員数 12名 うち昇給・昇格を行った者 10名 当該人事評価制度の周知方法 人事評価制度の周知方法 人事評価制度の周知方法 人事評価制度の周知方法 人事評価素 公示 「会員 20日 日本 ・会員 20日 7年 7日	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ
*研修、学会等名 阪南岬支援者ネットワーク			
うち研修受講者数 5 人 ※研修名 精神・発調音者にことサポーター量成講座 7月 21日 (事務的			
実施日			
The pink			
実施日・受講者数 8月 18日 5人 (金) 販路拡大の商談会等への参加回数 数回 (金) 職員の人事評価制度を整備している (回) 職員の人事評価制度を整備している (回) 職員の人事評価制度を整備している (回) 当該ピアサポーターの配置 (金) 職員の人事評価制度を整備している (回) 当該ピアサポーターは「障害者ピアポーターは「障害者ピアポート研修」 (回) 当該ピアサポーターは「障害者ピアポート研修」 (回) 当該ピアサポーターは「障害者ピアポート研修」 (本事評価制度の対象職員数 12名 12名 10名 当該人事評価制度の周知方法 (本事評価表 公示 (本事評価表) (本事書社書) (本事書社書) (本事書社書) (本事書社書) (本書社書)			
◎販路拡大の商談会等への参加回数 数回 ※商談会等名 介護福祉を考える会 主催者名 介福会 日時 12月20日 内容 大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 ②第三者評価 (多国際標準化規格が制定したマネジメント 園下標準化規格が制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている 規格等の認証等を受けている □			
◎販路拡大の商談会等への参加回数 数回 ※商談会等名 介護福祉を考える会 主催者名 介福会 日時 12月20日 内容 大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 ②第三者評価 (多国際標準化規格が制定したマネジメント 園下標準化規格が制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている 規格等の認証等を受けている □	④ 販路拡大の商談会等への参加	⑤勝員の人事評価制度	⑥ピアサポータ <i>ーの配</i> 置
②当該人事評価制度を周知している ▽ 大事評価制度を周知している ▽ 大事評価制度の制定日 平成31年4月1日 大事評価制度の制定日 平成31年4月1日 大事評価制度の対象職員数 12 名 うち昇給・昇格を行った者 10 名 当該人事評価制度の周知方法 上事評価制度の周知方法 上事評価制度の周知方法 上事評価表 公示 ○ ○ 第三者評価 ② 第三者評価 ② ③ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ○ ○ □ □ ○ □ □			
主催者名 介福会 日時 12 月 20 日 内容 大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 一次 大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 ②第三者評価 ③国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ②前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている 風路標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている 規格等の認証等を受けている 団			
日時 12 月 20 日	※商談会等名 介護福祉を考える会	人事評価制度の制定日 平成31年4月1日	を受講している 🔲
内容 大阪府下内で介護福祉に関わる事業者が集まり商談会を開催 当該人事評価制度の周知方法 人事評価表 公示 ②第三者評価 ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ②前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている 回国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている 規格等の認証等を受けている 回		人事評価制度の対象職員数 12 名	
まり商談会を開催 人事評価表 公示 ⑦第三者評価 ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎前年度末日から過去3年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている 「規格等の認証等を受けている」			
⑦第三者評価 ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ⑩前年度末日から過去3年以内に ⑩国際標準化規格が制定したマネジメント 福祉サービス第三者評価を受けている 規格等の認証等を受けている			
◎前年度末日から過去3年以内に ◎国際標準化規格が制定したマネジメント 福祉サービス第三者評価を受けている 規格等の認証等を受けている	八爭計圖茲。五小		
福祉サービス第三者評価を受けている			
(※)実績のうち 1 事例を記載	催祉サービス第二者評価を受けている	規格寺の認証寺を受けている 🔲	
(※) 実績のうち 1 事例を記載			
(※) 実績のうち 1 事例を記載			
(※)実績のうち1事例を記載			
			(※)実績のうち1事例を記載